

プレス・カメラマン・ストーリー 出品作品リスト

※展示順とは異なります。

| | | | | |
|----|------|------------------------------------|-------------|-----------|
| 1 | 影山光洋 | 神格、天皇陛下静岡県へ行幸 | 1930年6月1日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 2 | 影山光洋 | 二・二六事件勃発 | 1936年2月26日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 3 | 影山光洋 | ゴールド・ラッシュ | 1935年4月 | 東京都写真美術館蔵 |
| 4 | 影山光洋 | 鯨の洪水 | 1935年4月27日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 5 | 影山光洋 | 落陽を浴びて(シンガポール陥落) | 1942年2月19日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 6 | 影山光洋 | イエスか？ノーか？山下・パーシバル会談 | 1942年2月5日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 7 | 影山光洋 | カフェーの女給さんの休息(酒は涙かため息か) | 1931年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 8 | 影山光洋 | 七・七禁令(さよなら本物コーヒー) | 1940年7月5日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 9 | 影山光洋 | 涙の皇居前広場 | 1945年8月15日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 10 | 影山光洋 | 三男の賀彦誕生 | 1946年2月13日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 11 | 影山光洋 | 小麦の収穫祝、家族の肖像 | 1946年6月25日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 12 | 影山光洋 | 戦後10年、家族の肖像 | 1956年8月 | 東京都写真美術館蔵 |
| 13 | 影山光洋 | トンチャンの友達とジャンケンポン 「芋っ子ヨッチャンの一生」より | 1948年4月 | 東京都写真美術館蔵 |
| 14 | 影山光洋 | 庭で日食観測、初めての夏時間 「芋っ子ヨッチャンの一生」より | 1948年5月 | 東京都写真美術館蔵 |
| 15 | 影山光洋 | ヨッチャンさつま芋を肩に 「芋っ子ヨッチャンの一生」より | 1948年11月 | 東京都写真美術館蔵 |
| 16 | 影山光洋 | 汽車ポッポ 記念撮影 「芋っ子ヨッチャンの一生」より | 1950年5月23日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 17 | 影山光洋 | 出発の朝、庭で時間を待つ 「芋っ子ヨッチャンの一生」より | 1950年5月27日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 18 | 影山光洋 | 五歳の誕生日を床の上で迎えて 「芋っ子ヨッチャンの一生」より | 1951年2月13日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 19 | 影山光洋 | 床屋さんと呼ばれ頭をきれいに 「芋っ子ヨッチャンの一生」より | 1950年12月30日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 20 | 影山光洋 | 9日の朝 「芋っ子ヨッチャンの一生」より | 1951年4月9日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 21 | 影山光洋 | ヨッチャンの(賀彦)の死 「芋っ子ヨッチャンの一生」より | 1951年4月9日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 22 | 影山光洋 | 皆さんお世話になりました 「芋っ子ヨッチャンの一生」より | 1951年4月9日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 23 | 影山光洋 | ヨッチャンの悲しきお里帰り 「芋っ子ヨッチャンの一生」より | 1951年5月13日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 24 | 影山光洋 | エリザベス・サンダースホーム 澤田美喜園長と最初に集められた子供たち | 1948年5月23日 | 東京都写真美術館蔵 |
| 25 | 影山光洋 | エリザベス・サンダースホーム 第一期生6人組の成長記録(10歳時) | 1958年1月 | 東京都写真美術館蔵 |
| 26 | 影山光洋 | エリザベス・サンダースホーム 園児の記念撮影 | 1957年11月 | 東京都写真美術館蔵 |
| 27 | 大東元 | 題不詳 | 1950年代頃 | 東京都写真美術館蔵 |

| | | | | |
|----|------|------------------------------|---------|-----------|
| 28 | 大東元 | 日比谷にて | 1950年代頃 | 東京都写真美術館蔵 |
| 29 | 大東元 | 題不詳(女子プロレス) | 1960年代頃 | 東京都写真美術館蔵 |
| 30 | 大東元 | ピストン堀口 | 1947年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 31 | 大東元 | 題不詳 | 1950年代頃 | 東京都写真美術館蔵 |
| 32 | 大東元 | 野球評論家 飛田穂洲 | 1950年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 33 | 大東元 | ボクシングフライ級世界選手権 白井義男ーダド・マリノ戦 | 1952年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 34 | 大東元 | 升田幸三八段 | 1949年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 35 | 大東元 | モダン・ダンス マーサ・グラーム舞踊団 | 1955年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 36 | 大東元 | 日本舞踊を習う東郷青児(左)藤島秀光(元 常の花)(右) | 1948年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 37 | 大東元 | 題不詳 | 1960年代頃 | 東京都写真美術館蔵 |
| 38 | 大東元 | 題不詳 | 1960年代頃 | 東京都写真美術館蔵 |
| 39 | 大東元 | 公営住宅 戸山ハイソ | 1950年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 40 | 大東元 | 夜空の構成 数寄屋橋にて | 1958年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 41 | 大東元 | 死の街の記録 | 1962年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 42 | 大東元 | ニコライ堂 | 1951年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 43 | 大東元 | 車中富士 | 1955年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 44 | 大東元 | 盆おどり | 1954年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 45 | 大東元 | 世相をみた合成写真 | 1948年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 46 | 大東元 | 靖国神社にて | 1952年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 47 | 大東元 | 題不詳 | 1960年代頃 | 東京都写真美術館蔵 |
| 48 | 大東元 | 題不詳 | 1960年頃 | 東京都写真美術館蔵 |
| 49 | 大東元 | 安保の夜 | 1960年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 50 | 大東元 | 題不詳 | 1960年代頃 | 東京都写真美術館蔵 |
| 51 | 大東元 | 駒形どぜう アンリ・カルティエ＝ブレッソン | 1965 | 東京都写真美術館蔵 |
| 52 | 大東元 | 第29回全国中等学校野球大会(甲子園) | 1947年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 53 | 吉岡専造 | 傍聴席 「現代の感情」より | 1952年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 54 | 吉岡専造 | 鳩山退場 「現代の感情」より | 1956年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 55 | 吉岡専造 | 記者会見「現代の感情」より | 1953年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 56 | 吉岡専造 | 宴会「現代の感情」より | 1952年 | 東京都写真美術館蔵 |

| | | | | |
|----|------|-------------------|--------|-----------|
| 57 | 吉岡専造 | ピケライン 「現代の感情」より | 1955年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 58 | 吉岡専造 | 合掌する人々 「現代の感情」より | 1956年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 59 | 吉岡専造 | 運命の子供 「現代の感情」より | 1952年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 60 | 吉岡専造 | 大衆温泉場にて「現代の感情」より | 1956年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 61 | 吉岡専造 | 供出米品質調査 「現代の感情」より | 1955年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 62 | 吉岡専造 | 集団面接試験 「現代の感情」より | 1954年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 63 | 吉岡専造 | 吉田 茂 | 1951年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 64 | 吉岡専造 | 巖本真理 | 1951年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 65 | 吉岡専造 | 伊藤憲朔氏 | 1950年代 | 東京都写真美術館蔵 |
| 66 | 吉岡専造 | 横綱 吉葉山関 | 1951年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 67 | 吉岡専造 | 闘魂 横綱 千代の山 | 1950年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 68 | 吉岡専造 | 御神火 | 1951年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 69 | 船山克 | 銀座4丁目 「東京」より | 1959年 | 作家蔵 |
| 70 | 船山克 | 後樂園夜景 「東京」より | 1950年代 | 作家蔵 |
| 71 | 船山克 | ガスタンク 「東京」より | 1959年 | 作家蔵 |
| 72 | 船山克 | 東京駅 「東京」より | 1953年 | 作家蔵 |
| 73 | 船山克 | 道 「東京」より | 1959年 | 作家蔵 |
| 74 | 船山克 | 榛名湖 | 1950年代 | 作家蔵 |
| 75 | 秋元啓一 | 銃殺 -ある高校生の死 | 1965年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 76 | 秋元啓一 | 銃殺 -ある高校生の死 | 1965年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 77 | 秋元啓一 | 銃殺 -ある高校生の死 | 1965年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 78 | 秋元啓一 | 銃殺 -ある高校生の死 | 1965年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 79 | 秋元啓一 | 銃殺 -ある高校生の死 | 1965年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 80 | 秋元啓一 | 銃殺 -ある高校生の死 | 1965年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 81 | 秋元啓一 | 銃殺 -ある高校生の死 | 1965年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 82 | 秋元啓一 | 銃殺 -ある高校生の死 | 1965年 | 東京都写真美術館蔵 |
| 83 | 秋元啓一 | メコン・デルタの兵士たち | 1965年頃 | 東京都写真美術館蔵 |
| 84 | 秋元啓一 | メコン・デルタの兵士たち | 1965年頃 | 東京都写真美術館蔵 |
| 85 | 秋元啓一 | 抵抗する仏教徒たち | 1965年頃 | 東京都写真美術館蔵 |

| | | | | |
|----|---------|------------------------------|--------------|-----------|
| 86 | 秋元啓一 | カマウの市場 | 1965年頃 | 東京都写真美術館蔵 |
| 87 | 秋元啓一 | ドン・ハの道端 | 1965年頃 | 東京都写真美術館蔵 |
| 88 | 小島忠郎特派員 | 上海戦線 杭州 銭塘江畔鉄道を警備の皇軍 杭州 二十七日 | 1938年1月15日受入 | 朝日新聞所蔵 |

| | | | | |
|-----|----------|---|---------------|--------|
| 89 | 浜野嘉夫特派員 | 上海戦線 南市 逃げる敵兵を追いかける川並部隊の勇士等 十一日 | 1937年11月21日受入 | 朝日新聞所蔵 |
| 90 | 浜野嘉夫特派員 | 塵埃化した南市 陸上を馳駆し残敵掃蕩の戦車の活躍 | 1937年11月11日撮影 | 朝日新聞所蔵 |
| 91 | 大木栄一特派員 | 大音響と共に深馬路口鉄橋落つ 十四日 深馬路口鉄橋の前にて | 1938年5月14日撮影 | 朝日新聞所蔵 |
| 92 | 島田謹介特派員 | 空高き支那海に着水しあざやかにわが艦載機は帰ってきた | 1937年11月11日受入 | 朝日新聞所蔵 |
| 93 | 撮影者不詳 | 大山事件 支那保安隊員の死体のあったところ 保安隊員が厳重警戒している鉄条網を境界として手前が碑坊路 向こうは飛行場区域 上海 | 1937年8月10日撮影 | 朝日新聞所蔵 |
| 94 | 大木栄一特派員 | 上海戦線 徐州 壕内で銃掃除 両角部隊の勇士 | 1938年5月19日撮影 | 朝日新聞所蔵 |
| 95 | 岡美千雄特派員 | 上海戦線 南京 今の間に昼食をしようぜ(大角力)南京 | 1938年4月27日 受入 | 朝日新聞所蔵 |
| 96 | 浜野嘉夫特派員 | 上海戦線 南市 南市停車場前で占領した電車 車庫で電車に乗って喜ぶ 鷹森部隊の兵隊さん | 1937年11月11日撮影 | 朝日新聞所蔵 |
| 97 | 大東元特派員 | 業務打合せに来社する王精衛氏 東亜クラブ議場 議員席にて | 1940年3月22日撮影 | 朝日新聞所蔵 |
| 98 | 吉岡專造特派員 | 国民政府還都一周年記念行事 国民体操大会 南京 | 1941年3月29日撮影 | 朝日新聞所蔵 |
| 99 | 小久保善吉特派員 | 皇軍軍用トラック 仏蘭西との折衝成立 砂煙りをあとに堂々行進 南市に向ふ | 1937年12月4日撮影 | 朝日新聞所蔵 |
| 100 | 小久保善吉特派員 | 憲兵隊の佈告 社旗の掲げてあるは本社金山本部 上海戦線 | 1937年11月18日撮影 | 朝日新聞所蔵 |
| 101 | 小島忠郎特派員 | 上海戦線 杭州 雲林寺山門前の皇軍兵士と住民の交歓 | 1937年12月27日撮影 | 朝日新聞所蔵 |
| 102 | 岡田丈夫特派員 | お天気の良い日には水兵さんは汗と油の戎衣をさっぱりと洗濯する。後甲板の潮風に洗濯ものが鈴なりに翻っているのもほほえましい 南支郡海 口口艦上にて | 1940年7月19日受入 | 朝日新聞所蔵 |
| 103 | 坂井利男特派員 | 南京 「風呂が沸いてゐます 日本兵隊さん歓迎」 | 1938年4月3日撮影 | 朝日新聞所蔵 |
| 104 | 影山正雄特派員 | 上海戦線 南京市街に一際目立つ ナチスの旗 | 1938年12月27日撮影 | 朝日新聞所蔵 |
| 105 | 撮影者不詳 | 十日早暁 上海 大山事件 不法射撃を受けた自動車 | 1937年8月19日受入 | 朝日新聞所蔵 |
| 106 | 小久保善吉特派員 | 広東白雲飛行場における口口機 広東にて | 1938年11月14日撮影 | 朝日新聞所蔵 |
| 107 | 瀬戸口正昭特派員 | (ベトナム・ベトコン地区に行く) 早朝、作戦帰りの政府軍。足取りがトボトボしている。 | 1965年 | 朝日新聞所蔵 |
| 108 | 秋元啓一特派員 | (パリ NO4)(68・パリ会談) 会場のある通りには数百の市民が集まり、なかには南ベトナムから来た技術者の顔も見えた。(10日午後2時50分=現地時間=) | 1968年 | 朝日新聞所蔵 |
| 109 | 疋田桂一郎特派員 | 英語が主流にサイゴン通り フランス統治時代、フランスの軍艦の名前をとった「カチナ通り」だったサイゴンの道路が、「チュドー(ベトナム語で自由)通り」と呼ばれる。その通りに、英語の看板が氾らんし、アメリカ兵の通りになった。フランス語より、英語が通じやすい。解放戦線によるテロの巻き添えを恐れて、市民はここを避ける。(5枚組写真の1枚目) | 1966年 | 朝日新聞所蔵 |

| | | | | |
|-----|-----------------|---|---------------|---------|
| 110 | 池辺重利特派員 | ダナン空港の燃料タンク燃える 南ベトナム民族解放戦線・北ベトナム軍のテト攻勢、春期攻勢のあと、1968年6月末から小康状態が続いたが、解放戦線と北ベトナム軍は8月18日未明、カンボジア国境近いタイニン省、中部高原のコンツム省、北部のトアティエン省などの18カ所を砲撃し、12カ所に地上攻撃を加えた。北部におけるアメリカ軍の拠点基地ダナンも砲撃され、燃料タンクが燃え上がった。(3枚組写真の1枚) | 1968年8月18日 | 朝日新聞所蔵 |
| 111 | 藤木高嶺特派員 | 解放戦線地区の米を押収 南ベトナム中部沿岸のクアンガイ省にあるベンハ村で、アメリカ軍の中隊に従軍した。中隊は民族解放戦線が支配する集落を攻撃した。事前のヘリコプターによる爆撃で、民家の7割は破壊され、燃えていた。住民は姿を消していた。焼け落ちた農家の防空ごうに、もみのままのコメが貯蔵してある。カメに入れて埋めてあったコメもあった。アメリカ軍の中隊は無線でヘリコプターを呼び、コメをバケツリレーで積み込み、運び去った(12間組写真の3枚目) | 1967年 | 朝日新聞所蔵 |
| 112 | 梅津禎三特派員 | 掃討中の米兵に複雑な笑顔 南ベトナム北部のダナン地域で、解放戦線に対する掃討作戦中のアメリカ軍部隊が、畑の中をパトロールしている。スキを持つ手を休めた農婦の一人が、複雑な笑顔を向けた。(5枚組写真の5枚) | 1969年4月6日 | 朝日新聞所蔵 |
| 113 | 池辺重利特派員 | 米軍、ケサン撤退・輸送 1968年6月27日、サイゴンのアメリカ軍司令部は、南ベトナム北部の戦略拠点であるケサン基地を守備している海兵隊が撤退を開始していると発表した。同基地は同年初から来たベトナム正規軍の猛攻を受けていたが、米軍首脳はこれまで「ケサン基地はいかなる犠牲を払っても維持する」と主張してきた。7月6日、米海兵隊がケサンを撤退した最後の日、同基地の東15キロにあるスタッド補給基地には、舞い上がり舞い降りるヘリコプターがひしめいていた。写真はあわただしく発着する米軍の大型ヘリコプター | 1968年7月6日 | 朝日新聞所蔵 |
| 114 | 岡村昭彦 PANA通信社 | (ベトナム戦争・戦火のベトナム)アサヒグラフ 増刊号 田の中に新しく土を盛り、上にワラがかぶせてあったので、政府軍兵士が戦車からとびおり銃撃を加えたが、人は入っていなかった。弾薬でも埋めてあるのだろう。 | 1964年4月 | 朝日新聞所蔵 |
| 115 | 服部有人特派員 | 米軍引揚 6番 廃墟となった基地 車中からのかくしどり(ビエンホアで) | 1971年10月4日 | 朝日新聞所蔵 |
| 116 | 林理介特派員 | 臨時革命政府の旗がひるかえった旧大統領官邸(独立宮殿)前で集まった民衆に平和を祈る老僧 | 1975年5月 | 朝日新聞所蔵 |
| 117 | 梅津禎三特派員 | 国道1号いっぱい避難民があふれる中を、砲撃による負傷者を運ぶ軍のジープ。政府軍兵が空へ向けて威嚇射撃をしていた。ビエンホアから東へ13キロのホイアン付近で | 1975年4月21日 | 朝日新聞所蔵 |
| 118 | 小久保善吉特派員 | 広東近郊観音山附近の山を利用した防空壕と之を警備する河崎部隊 根東隊(緊急記事付)十月二十九日 | 1938年10月29日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 119 | 松平特派員 | トラックをつらねて一路花縣占領に向ふ快速古賀、乾各部隊 八日 広東にて | 1938年11月8日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 120 | 小久保善吉特派員 | 皇軍南京路行進 手榴弾投下事件を新聞記者に発表する 深堀中佐 十二月三日 事件現場 警備本部 南京路 偉大呉服店にて | 1937年12月3日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |

| | | | | |
|-----|----------|------------------------------|--------------|---------|
| 121 | 小久保善吉特派員 | 「皇軍租界行進」外人のカメラマン屋根に上って 十二月三日 | 1937年12月3日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
|-----|----------|------------------------------|--------------|---------|

| | | | | |
|-----|----------|--|---------------|---------|
| 122 | 林田特派員 | 徐州發北上 一番列車の出発 五月二十二日 | 1938年5月22日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 123 | 熊崎玉樹特派員 | 杭州に始めて火災起きる 消防に活躍する兵隊さん 一月十三日 杭州 | 1938年1月13日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 124 | 撮影者不詳 | 大山事件 碑坊路の中尉虐殺現場附近と日支共同実地検証の一行 八月十日 上海 | 1937年8月10日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 125 | 星島一郎特派員 | 寫真屋も来た 故郷への便りに入れる勇姿でも 五月三十一日 於徐州 | 1937年5月31日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 126 | 影山正雄特派員 | 徐州駅附近の残敵を掃蕩の田代部隊勇士 五月十九日 | 1938年5月19日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 127 | 小久保善吉特派員 | 日本兵に敬礼する可愛い支那の子供 十一月十六日 広東にて | 1938年11月16日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 128 | 大東元特派員 | 慶祝の街をおどり抜く龍舞 中山路にて 三十日 | 1940年3月30日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 129 | 大東元特派員 | 還都待つ南京の夜 中央ロータリーの電飾なった隊塔 三月六日 南京 | 1940年3月6日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 130 | 大東元特派員 | 還都のよこびを語り合ふ南京街頭のスナッフ 朝日の藤波式1型望遠カメラにて | 1940年3月2日受入 | 朝日新聞社所蔵 |
| 131 | 浜野嘉夫特派員 | 南市市内を行進する我が川並部隊 十一日 | 1937年11月11日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 132 | 浜野嘉夫特派員 | 南市占領なって破カイされた家屋の傍らに休憩する川並部隊 十一日 | 1937年11月11日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 133 | 浜野嘉夫特派員 | 逃げる敵兵を追ひかける川並部隊の勇士等 南市にて 十一日 | 1937年11月11日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 134 | 浜野嘉夫特派員 | 南市へ突ゲキの川並部隊 十一月十一日 | 1937年11月11日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 135 | 浜野嘉夫特派員 | 南市突撃する川並部隊 十一月十一日 | 1937年11月11日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 136 | 浜野嘉夫特派員 | 月暉路クリークに無事架橋なって南市へ進む川並部隊 十一月十一日 | 1937年11月11日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 137 | 浜野嘉夫特派員 | 南停車場占領万才を唱える川並部隊 十一月十二日 | 1937年11月12日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 138 | 熊崎玉樹特派員 | 南京まで一キロ、中山門前面の堅固なる敵のトーチカ陣地に突撃せんとする富士井部隊 十一日 | 1937年12月11日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 139 | 小久保善吉特派員 | 南京へ、南京へ 山岳地帯を進む片桐部隊西田隊(九連隊) 九日梅塘前面にて | 1937年12月9日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 140 | 小久保善吉特派員 | 第十六師団関係□□紫金山麓龍王殿内の片桐部隊本部 十二月十二日 | 1937年12月12日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 141 | 小久保善吉特派員 | 炎々たる猛火に包まれた南京紫金山全景 十二月十日夜 向尚林にて | 1937年12月10日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 142 | 熊崎玉樹特派員 | 浅田部隊 南京城壁に猛砲撃を加ふ 十二月十二日 | 1937年12月12日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 143 | 熊崎玉樹特派員 | 中山門上の万才 富士井部隊 十三日 | 1937年12月13日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 144 | 熊崎玉樹特派員 | □□輝く軍旗を捧げて中山門に入る富士井部隊 軍旗の前は部隊長 十二月十三日□□三十日 | 1937年12月10日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 145 | 影山正雄特派員 | 徐州はもう真夏だ。旧黄河の水で水浴する千葉部隊の兵隊さん 三船氏の記事より 五月二十二日 徐州に於て | 1938年5月22日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 146 | 影山正雄特派員 | 早くも開通した徐州駅 五月二十二日 徐州駅に於て | 1938年5月22日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |

| | | | | |
|-----|---------|-------------------------------|--------------|---------|
| 147 | 小島忠郎特派員 | 皇軍が爆弾投擲事件の起った新々公司前を实地検証 十二月三日 | 1937年12月3日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
|-----|---------|-------------------------------|--------------|---------|

| | | | | |
|-----|-----------|--|---------------|---------|
| 148 | 江美澤喜三郎特派員 | 我が海軍により占拠された車牛山島 九月十六日 | 1937年9月16日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 149 | 小久保善吉特派員 | 海軍機の地上陸軍部隊連絡 十二日 清水塘 | 1940年3月12日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 150 | 小久保善吉特派員 | 復興を急ぐ 金山 十八日 | 1937年12月18日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 151 | 撮影者不詳 | 自治會の門前の群衆 3月21日 南京 | 1938年3月21日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 152 | 影山正雄特派員 | 蔣夫妻の地下かくれ家の地下道の壁にかかれた日本軍占領の歌 これは大毎のうたか？ 十二日 | 1938年1月12日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 153 | 影山正雄特派員 | 南京漢中門を行進する野戦予備病院として入城する串田部隊 山口版用二十五日 | 1937年〇月25日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 154 | 小久保善吉特派員 | 我軍に護られ行く金山風景 十八日 金山 | 1937年11月18日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 155 | 小久保善吉特派員 | 我が軍に護られる金山風景 十一月十八日 | 1937年11月18日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 156 | 小久保善吉特派員 | 九月二十三日 空爆に向ふ 海軍機 | 1937年9月23日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 157 | 江美澤喜三郎特派員 | 車牛山島占拠 雄躍山頂へ向ふわが海軍の精鋭 九月十六日 | 1937年9月16日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 158 | 渡部特派員 | 前線に向ふ列車内で蓄音器の軍歌に聞き入ってゐる高橋航空隊の兵隊さん、帰徳に向ふ列車中にて | 1938年6月21日受入 | 朝日新聞社所蔵 |
| 159 | 影山正雄特派員 | 陽炎もゆる 〇〇基地でのびのびと昼食をとる高橋部隊 陸の荒鷲連 特輯ページ用 三月十九日 臨汾にて | 1938年3月19日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 160 | 熊崎玉樹特派員 | 南京上空を舞ふ我が飛行機 十二月十二日 | 1937年12月12日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 161 | 小久保善吉特派員 | 黄龍山を越へ南京へ向ふ大野部隊(二十聯隊) 十六師〇係 九日 | 1937年12月9日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 162 | 影山正雄特派員 | 特務兵御苦労さんと馬の手綱を片手に路傍に結ぶ夢 韓信嶺 | 1938年2月27日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 163 | 影山正雄特派員 | その昔漢の高祖が楚の項羽と覇を争ひ韓信が楚軍を破った韓信嶺の古戦場も今は圓錫山が多年の国費を投じて作った敵の要害となった これとて我精鋭の前には一たまりもなく蹴散らされてしまった 靈石南方四キロの韓信嶺の敵軍 | 1938年3月12日受入 | 朝日新聞社所蔵 |
| 164 | 影山正雄特派員 | 南京 - 上海間列車開通の日の南京下関駅の賑ひ 二十四日 | 1938年2月24日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 165 | 岡美千雄特派員 | 同仁會の活動 一日 南京 | 1938年5月1日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 166 | 岡美千雄特派員 | 水道班の活躍 清涼山大鉄管補修現場 三月十五日 | 1938年3月15日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 167 | 影山正雄特派員 | 南京 - 上海間列車開通の日の日の丸列車 分取った機関車に乗った千葉鉄道隊の勇士 二十四日 南京 | 1938年〇月24日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 168 | 影山正雄特派員 | 光華門城外に立って当時の物凄かった肉弾戦を語る脇坂部隊の白衣の勇士 十一日 | 1938年2月11日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 169 | 小久保善吉特派員 | 杭州湾上陸部隊 金山〇〇部隊へ通信筒投下の我軍機 十日 | 1937年11月10日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 170 | 小久保善吉特派員 | 杭州湾上陸部隊 金山橋を警備する 我兵 十日 | 1937年11月10日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 171 | 新海溥特派員 | 抗日テロ分子の放火を直ちに出勤して活躍する陸戦隊 十二月二日 | 1938年12月2日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |

| | | | | |
|-----|-------------|--|---------------|---------|
| 172 | 大東元特派員 | 灰燼に帰した広東メンストリート永漢北路 焼け落ちた電線修理に活躍する我が兵 十一月二十五日 | 1938年11月25日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 173 | 小久保善吉特派員 | 正服を着た広東自営団の勇姿(惠福路にて十二日) | 1938年12月12日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 174 | 大東元特派員 | 空輸挺身隊奮戦の地にたてられた墓標 パレンバンにて | 1943年4月26日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 175 | 大東元特派員 | 瑞穂学園 日本語を熱心にまなぶインドネシア パレンバンにて | 1943年3月撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 176 | 井上特派員 | 映画のコマから取ったもの 上海戦線 南京入城 | 1937年12月13日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 177 | 大東元特派員 | 空から見た南京市 左上の洋館は国民大会堂と国民美術館 右上凸形の洋館は維新政府行政員 右下洋館は南京電話局 | 1940年3月17日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 178 | 新海溥特派員 | 抗日テロ分子の放火を消火につとめる自警團員／広東にて | 1938年12月8日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 179 | 熊崎玉樹特派員 | 日本租界(拱宸橋)の人民登記処に殺到する支那良民(避難から帰った良民の戸口登録) | 1938年2月13日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 180 | 宮内靈勝特派員 | 皇軍租界行進に支那人の通行を禁止し印度人巡查警戒す 十二月三日／上海戦線 | 1937年12月3日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 181 | 小久保善吉特派員 | 新生スマトラ一周年記念／児童の旗行列に賑ふメダン 千代田通りにて | 1943年3月13日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 182 | 撮影者不詳 | 北菌部隊 松井隊 熱狂する応援団 四月三日 南京 | 1938年4月3日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 183 | 撮影者不詳 | 昨今南京風景 十七日 | 1938年4月7日受入 | 朝日新聞社所蔵 |
| 184 | 岡美千雄特派員 | 堂仁会の活躍 注射、種痘を終えて痘苗の乾くのをまつ人々 五月一日 南京 | 1938年5月1日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 185 | 撮影者不詳 | 本社戦捷博に出品される「南京城一番乗りの武勲輝く竹梯子」 | 1938年3月撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 186 | 小久保善吉特派員 | 金山／維持会内で佈告を書く憲兵とそれを支那語で書く良民 十一月十八日 金山にて | 1938年11月18日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 187 | 小久保善吉特派員 | 我軍のため働く支那農民が仕事場に急ぐ 杭州湾上陸部隊 李宅 | 1937年11月10日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 188 | 小久保善吉特派員 | 廣東婦女維持会の衣装バザー 廣東にて | 1938年12月15日撮影 | 朝日新聞社所蔵 |
| 189 | 撮影者不詳 AP通信社 | 切り抜き一枚(ベトナム非人道行為・捕虜虐殺) | 1965年1月30日 | 朝日新聞社所蔵 |
| 190 | 秋元啓一特派員撮影 | 「週刊朝日」が南ベトナムに派遣した作家の開高健と秋元啓一出版写真部員が1965年2月14日、サイゴンの北50キロ余りのベンカット地区で政府軍とアメリカ軍の共同部隊に従軍取材中、のジャングルの中で民族解放戦線に包囲され、攻撃を受けた。アメリカ軍の通信兵が上空の自軍UH-1Bヘリコプターに、周囲の解放戦線部隊への攻撃を要請している。攻撃は約10時間も続き、政府軍に多数の死傷者が出た。解放戦線は同日、南ベトナム全土の部隊に「軍事独裁のかいらい政権を倒せ」と布告していた。 | 1965年2月14日 | 朝日新聞社所蔵 |
| 191 | 瀬戸口正昭特派員 | 南ベトナムの解放民族戦線・ベトコンの兵士たち。国道ぞいの堤に立つ姿は、解放区の威厳を背負っているようだ | 1965年5月10日 | 朝日新聞社所蔵 |

| | | | | |
|-----|-------------|---|---------|---------|
| 192 | 撮影者不詳 AP通信社 | (ベトナム戦争・アメリカ友戦運動)マクナマラ(矢印) 三日、米マサチューセッツ州アムハースト大学でマクナマラ米国防長官(矢印)が名誉博士号を授与された際に、米国のベトナム政策に反対して退場する(抗議の腕章をつけている)同大学の四年生たち | 1966年6月 | 朝日新聞社所蔵 |
| 193 | 藤木高嶺特派員 | 南北ベトナムを隔てる北緯17度線沿いの非武装地帯を挟んで、緊張が続いていた。非武装地帯を越えて南下する北ベトナム軍は、アメリカ軍側の推定で、4師団といわれた。ここは南ベトナム最北部のジオリンにあるアメリカ軍基地。非武装地帯まで、わずか1キロだ。175ミリ砲で北ベトナム軍の南下地域めがけて砲撃、白煙が上がった。北ベトナム軍の参戦は、アメリカ軍が南ベトナム全土で展開していた解放戦線に対する攻撃を、けん制する効果をもたらした。 | 1967年4月 | 朝日新聞社所蔵 |
| 194 | 藤木高嶺特派員 | 南ベトナム南部メコン・デルタの農民は、池の上に突き出して作ったトイレを使う。池に放した魚が排泄物を食べて育つ。大きくなったら、サイゴンの市場に出荷する。一種のリサイクルと言えなくもない。出荷前の10日ほど、きれいな池で飼うという(6枚組写真の3枚目) | 1967年 | 朝日新聞社所蔵 |
| 195 | 藤木高嶺特派員 | 南ベトナム中部沿岸のクアンガイ省にあるバンハ村で、アメリカ軍の中隊に従軍した。中隊は民族解放戦線が支配する集落を攻撃した。事前のヘリコプターによる爆撃で、民家の7割は破壊され、燃えていた。住民は姿を消していたが、急いで逃げたのか、落とし穴に土がかぶせてなかった。穴の底には、先をとがらせた竹が無数みに埋め込んであった。アメリカ軍はふつう、焼け残った民家にも放火するが、従軍している報道関係者の目を意識したのか、このときは放火しなかった。(12枚組写真の2枚目) | 1967年 | 朝日新聞社所蔵 |
| 196 | 藤木高嶺特派員 | 南ベトナム中部沿岸のクアンガイ省にあるバンハ村で、アメリカ軍の中隊に従軍した。中隊が民族解放戦線が支配する集落を攻撃したあと、最前線基地に戻って帰りの輸送をしてくれるヘリを待っていると、解放戦線の銃撃を受けた。手投げ弾も飛んできた。アメリカ兵3人が死傷した。解放戦線側にも4人の死者が出たという。飛来したヘリに乗って帰る途中、下を見ると、焼けた集落や大きな砲撃痕が見えた。(12枚組の4枚目) | 1967年 | 朝日新聞社所蔵 |
| 197 | 藤木高嶺特派員 | 南ベトナム中部沿岸のクアンガイ省の農村地帯を進んだアメリカ軍の装甲兵員輸送車隊は、とりいれ前の稲田に隠れていた解放戦線兵士に機関銃弾を浴びせて殺した。兵士は銃を手にしていなかった。銃弾が飛び交う間、農民たちはそ知らぬ顔で、稲刈りや稲こきを続けた。逃げ隠れすれば、撃たれるからだ。(12枚組写真の9枚目) | 1967年 | 朝日新聞社所蔵 |
| 198 | 藤木高嶺特派員 | (戦争と民衆第5部) 【社会部デスク】戦場の村15につく写真 ヘリが民家をロケット弾で攻撃しているところ。 | 1967年 | 朝日新聞社所蔵 |
| 199 | 藤木高嶺特派員 | 南ベトナム中部沿岸のクアンガイ省の農村地帯を進んだアメリカ軍の装甲車(APC)隊は、解放戦線の反撃を受けた。兵士たちはAPCを降りて応戦し始めた。スピードを上げたAPCは、激しく揺れる。APCの上に寝かせた解放戦線の負傷兵が落ちそうになる。黒人兵が負傷兵を抱きかかえ、APC車内に入れた。15、6歳の負傷兵は、鼻と口から泡の混じった血を流し、意識も失いかけていた。一般に、黒人兵は白人の兵士より、解放戦線兵士に対して穏やかな態度を示す。(12枚組写真の10枚目) | 1967年 | 朝日新聞社所蔵 |

| | | | | |
|-----|------------|---|-------------|---------|
| 200 | 峰弘道 UPI通信社 | UPI通信の嶺弘道カメラマンが南ベトナムのダク・ホ北方70キロ余りのハファンで、アメリカ軍の双発輸送機が被弾し、二つに分解した瞬間を撮影した。この輸送機は弾薬を積んで、着陸しようとしていたが、自軍の砲弾が命中してしまった。搭乗員3人は死亡した。一方、この写真はUPI通信の「1967年のベスト写真」の10位に選ばれたが、嶺カメラマンは翌年3月5日、南ベトナム北部のユエ(フエ)近郊で、アメリカ軍第一空輸騎兵士団の装甲車に乗って取材中、解放戦線の地雷に触れて死亡した。 | 1967年 | 朝日新聞社所蔵 |
| 201 | 藤木高嶺特派員 | 南ベトナム中部沿岸のクイニョンに近い国道1号沿いのヤシの林が、アメリカ軍が空からまいた枯れ葉剤を浴びて、丸坊主になった。アメリカ軍はジャングル戦では解放戦線に勝てないため、解放戦線が活動しそうなジャングル一面に枯れ葉剤をまいた。この薬剤は、遺伝子に影響を及ぼすダイオキシンが主成分であるため、のちに障害児や奇形動物が生まれる原因になった。薬剤使用当時から、それらの危険性が指摘され、国際的な批判を集めたが、アメリカ軍はこの薬剤散布を止めなかった。 | 1967年 | 朝日新聞社所蔵 |
| 202 | 梅津禎三特派員 | 南ベトナム第2の都市ダナンの南方でこの時期、解放戦線とアメリカ軍・政府軍の激戦が続いた。アメリカ海兵隊員がダナンからホイアンに通じる国道で、地雷が埋まっているかどうか、探知機を使って調べながら、慎重に前進している。(3枚組写真の2枚目) | 1968年11月 | 朝日新聞社所蔵 |
| 203 | 梅津禎三特派員 | 南ベトナム北部のユエ付近で、解放戦線の攻撃から列車を護衛するため、乗り込んだ政府軍1個中隊約90人は、こんな重装備をしていた。(2枚組写真の2枚目) | 1968年12月10日 | 朝日新聞社所蔵 |
| 204 | 丸山宗春写真部員 | 南ベトナムから撤退したアメリカ第9水陸両用旅団が、輸送船で沖縄県のホワイトビーチに着いた。この旅団が1969年の最後の撤退という。 | 1969年12月24日 | 朝日新聞社所蔵 |
| 205 | 梅津禎三特派員 | ベトナム和平に関する再開パリ会談で、南ベトナム領内の軍隊、軍需品の移動禁止を約束し合ったのに、その後の政府軍、民族解放戦線部隊の移動、補給状況は停戦前と変わらなくなった。停戦後の9カ月間の両軍の戦死は5万人を越えた、と政府軍側は見ている。北部の要衝ダナン周辺の農村で、政府軍兵士が砲弾で崩れた農家を、しらみつぶしに調べている。 | 1973年11月 | 朝日新聞社所蔵 |
| 206 | 本多勝一特派員 | ベトナム人がホー・チ・ミン国家主席の指導のもと、フランスからの独立をめざして戦った抗仏戦争(インドシナ戦争)で戦死した「諸烈士の墓地」が、北ベトナムのホアビン近くにあった。墓碑に、勇敢な戦闘ぶりが刻んであった。(8枚組写真の8枚目) | 1968年 | 朝日新聞社所蔵 |
| 207 | 梅津禎三特派員 | 南ベトナム民族解放戦線のロケット砲弾が撃ち込まれたサイゴン市場。テト前のにぎわいは、見る影もない。(4枚組写真の4枚目) | 1969年2月23日 | 朝日新聞社所蔵 |
| 208 | 撮影者不詳 | (米軍人の家族) 羽田へ着いたベトナム戦争で行方不明になった米軍パイロットの夫人たち。羽田空港で | 1970年1月 | 朝日新聞社所蔵 |

| | | | | |
|-----|---------|---|------------|---------|
| 209 | 梅津禎三特派員 | 1969年(昭和44年)6月9日(日本時間)、太平洋ミッドウェー島でグエン・バン・チュウ南ベトナム大統領と会談したリチャード・ニクソン米大統領は共同記者会見で、約2万5000人の米兵を南ベトナムから撤退させると発表した。写真は非武装地帯の南17キロ、ラオス国境から東13キロのバンダークリフト基地の第9連帯の兵士たち。うれしさを隠しきれずにおどける。 | 1969年6月15日 | 朝日新聞社所蔵 |
|-----|---------|---|------------|---------|

| | | | | |
|-----|-------------|--|------------|---------|
| 210 | 梅津禎三特派員 | 撤退第1陣のアメリカ兵たちは9機の輸送機に乗り込んだ。銃の代わりに、おみやげの紙包みを抱えて。 | 1969年7月8日 | 朝日新聞社所蔵 |
| 211 | 撮影者不詳 AP通信社 | (戦闘) 南ベトナムのケサン近くのハムギ基地で、北ベトナム側の砲撃を受け、かくれ場所へ向かって走る南ベトナム軍兵士。 | 1971年3月 | 朝日新聞社所蔵 |
| 212 | 阪中友久特派員 | 南ベトナム政府軍のクアンチ奪回作戦では、北ベトナム軍も大きな損害を受けた。PT76型戦車に乗り上げて、破壊されている。 | 1972年7月 | 朝日新聞社所蔵 |
| 213 | 梅津禎三特派員 | 南ベトナム首都サイゴン周辺のいたるところに、解放戦線軍による砲撃、地雷の爆発痕。道路の通行がままならず、政府軍の出撃はヘリコプター利用が多い。 | 1972年12月 | 朝日新聞社所蔵 |
| 214 | 撮影者不詳 AP通信社 | (停戦前後の社会) 23日夜、ニューヨーク、タイムズ・スクエアにあるアライド・ケミカル・ビルに流れるニクソン大統領のベトナム停戦協定成立の発表に注目する市民は、1945年8月14日のトルーマン大統領による日本の無条件降伏発表時の模様(NY-20)と比べると余りにもさびしい。 当時は数十万の市民が歓喜してこのタイムズ・スクエアを埋め尽くしたが、28年後の1月23日、わずか数百人がベトナム停戦のニュースに反応を示したにすぎない。 | 1973年1月23日 | 朝日新聞社所蔵 |
| 215 | 石川文洋特派員 | 外報部へ 「ベンハイを越えて」⑦ 爆撃で破壊されたドンハの街では、市民は再建へと活動していた。後方は捕獲された米軍の戦車 | 1973年5月 | 朝日新聞社所蔵 |
| 216 | 林理介特派員 | 靴も車も捨てて、逃走した南ベトナム政府軍惨敗の後。 (サイゴン郊外ツドクの国道1号で) | 1975年5月 | 朝日新聞社所蔵 |